

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：道路局国道・防災課
担当課長名：鈴木 克宗

事業名	深川留萌自動車道(一般国道233号) 幌糠留萌道路		事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 北海道開発局
起終点	自：北海道留萌市大字留萌村字幌糠 至：北海道留萌市大字留萌村東雲町				延長	13.0 km
事業概要	<p>深川留萌自動車道は、北海道縦貫自動車道深川JCTから分岐し、留萌市に至る延長約50kmの一般国道の自動車専用道路で、北海道縦貫自動車道と一体となって高速交通ネットワークを形成する路線である。このうち、幌糠留萌道路は、深川留萌自動車道の一部を形成する幌糠ICから留萌ICに至る延長約13kmの区間で、物流の効率化や主要な観光地へのアクセス向上等を目的としている。</p>					
H8年度事業化	H-年度都市計画決定	H12年度用地着手	H12年度工事着手			
全体事業費	約285億円	事業進捗率	12%	供用済延長	- km	
計画交通量	8,300台/日					
費用対効果分析結果	B/C(事業全体) 1.4 B/C(残事業) 1.5	総費用(残事業/事業全体) 236/266億円 事業費：208/238億円 維持管理費：28/28億円	総便益(残事業/事業全体) 361/361億円 走行時間短縮便益：296/296億円 走行費用減少便益：48/48億円 交通事故減少便益：17/17億円	基準年 平成17年		
感度分析の結果	<p>事業全体について感度分析を実施</p> <p>交通量変動：B/C=1.5(交通量+10%) B/C=1.2(交通量-10%) 事業費変動：B/C=1.2(事業費+10%) B/C=1.5(事業費-10%) 事業期間変動：B/C=1.2(事業期間+20%) B/C=1.5(事業期間-20%)</p>					
事業の効果等	<p>・国土・地域ネットワークの構築（拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する。隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する）</p> <p>・安全で安心できるくらしの確保（三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる）</p> <p>・物流効率化の支援（大都市圏への農林水産品の流通の利便性向上が見込まれる）</p> <p>・円滑なモビリティの確保（利便性の向上が期待できるバス路線が存在する）</p> <p style="text-align: right;">他7項目に該当</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>幌糠留萌道路は、物流の拡大や生活・文化・産業経済の交流圏域拡大等に重要な役割を果たすことが期待されており、留萌市をはじめとする関係1市7町1村の首長及び議会議長で構成される北海道留萌地域総合開発期成会他より、事業促進の要望を受けている。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>深川留萌自動車道は、平成10年4月に深川JCT～深川西IC間、同年7月に深川西IC～秩父別IC間、平成15年7月に秩父別IC～沼田IC間、平成17年3月に沼田IC～北竜ひまわりIC間を供用している。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>平成12年度より工事着手して、設計進捗率58%、事業進捗率12%となっている。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>引き続き事業が順調に進んだ場合、平成20年代後半の事業完了を予定している。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>設計方法（縦断・平面線形）の見直し等によるコスト縮減を図っている。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針の決定理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図	<p>The map shows the project route from Sorachi JCT (深川JCT) in Sorachi to Nemuro IC (留萌IC) in Nemuro. It includes existing roads like Nemuro Expressway (留萌小平線) and Nemuro Expressway (留萌本線), and identifies evaluation areas (再評価箇所) and areas to be used (供用中).</p>					

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。